

## 勿凝学問 221

医療保険の一元化先進国、韓国に学んでみると

2009年2月1日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

「僕には、右から左まで党派に関わりなく呼ばれるという特技があるようなんです」  
と書いたのは、「勿凝学問 198 [僕の需要はコンサル需要だな](#)」であった。先日も、講演会場に入ると、前の講演者が、「今年こそ、政権交代を実現しましょう！」と話していた。こりゃあ、やっかいなところに来たなあと思いながら、年金をテーマに講演を開始。1時間後には、「基礎年金の租税財源化なんか、あり得ないですよ」と問うと、オーディエンスはみんなそろって、深く頷いてくれていた。。。

そして、どうも「右から左まで党派に関わりなく呼ばれるという特技」だけではなく、医療だと、医療関係者から支払い側まで利害に関わりなく呼ばれるという特技もあるようなのである。先日も、「医療費を増やすべしと言っている僕を、保険者が呼んでどうするんですか（笑）」と主催者に話をすると、「そこがミソなんですよ」とのこと！？

ということで、保険者の責任者が集まった人たちを相手に、講演をはじめます。

わたくしのゼミを希望する学生が時々、「学生時代には役に立たないことをしたいと思って先生のゼミを志望しました」と言うんですけど、まあ、おそらく彼らが言いたいことは、「すぐに役に立たないけど、いずれは確実に役に立つだろう世の中の本質的なことを学びたい」ということだと思っただけなんです。今日の話も、皆さんには、すぐに役に立たない話だと思うのですが・・・

先日、「[人は消費者であり労働者でもあるという人間の二面性について](#)」という文章を書きました。そこで今日は、「みなさんは保険者であり生活者であるという二面性について」話をしたいと思います・・・

そして1時間後、日本の医療費を増やさなければなりません、特に公的医療費を増やさなければなりません。そのためにみなさんのお力をお借りしなければなりませんという話になっていたわけで、そうした講演に関する感想として、

権丈先生、本日は、素晴らしい講演をいただきありがとうございました！！

アンケート結果を読んでも、絶賛の意見が多く《また次回講演も権丈先生に是非！》という声が多いのが特徴でした。

なんともステキなお世辞と言えども、おいおい、大丈夫か？と、こっちが心配したくなる。本当に、あれで良かったのかな？というのも、医療保険の一元化を唱え続けてきた人たちを前に、2008年10月7日、第2回「高齢者医療制度に関する検討会」の議事録から、僕が話した次の箇所を読み上げたりもしていたからである。

リスク調整というのは事業主側の同意が必要になるということで、究極的なリスク調整、つまり一元化をボンとやってしまったのが韓国なわけなんですけれども、韓国がどうしてああいう一元化ができたのかと、川淵委員がこの前おっしゃっていましたが、私は、あれは大統領制だからできたんだというのがあるんですね。1997年に金大中氏が12月の大統領選挙のときになぜ一元化を公約したかというのと、税は教育とかに使いましょう、それを最大の公約として表に出して、そのかわり医療はなるべく保険の方で財政調整していきましょうということをやったわけなんです。

韓国での一元化については、裁判が起こるんですね。所得捕捉率、韓国では露出率と言うんですけれども、所得露出率が悪い自営業者を含めた形でリスク調整をやるというのはあり得ないという批判が被用者保険側から出て、1999年に憲法裁判所に持ち込まれます。2000年に出た結論は、確かにこれだけの捕捉率に違いがある下では、リスク調整というか、所得の最分配、財政調整というのは、連帯という言葉では肯定できるものでないから違憲である。とは言っても、政府は今、きちんと保険料を徴収するための一元化システムを考えているわけだから、それが実現すれば違憲でないという判決になります。そして財政的にも統合を2003年にやるわけです。ですけれども、いまだに財政的な保険料の一元化の徴収システムができていないし、みんなもできないだろうと思っているので、結果的に、韓国の医療保険制度は、今、違憲判定のまま走っている訳です。

向こう側のプロ、そして、向こう側のことをいろいろ知っている人間から見ると、韓国の医療保険一元化は失敗だったというのがありまして、私はだから大統領制はあぶないとも思うのですが。

「高齢者医療制度に関する検討会」で、上の話をした翌日、ある新聞記者から、韓国の医療制度についての問い合わせがある。そして他の新聞記者からは、前日の「高齢者医療制度に関する検討会」で事務局に依頼した資料の意味を教えてくださいとの連絡がある（資料は第3回検討会で[配付](#)）。ええい面倒だということで、17人くらいの知人の記者にBCCで、「明日、〇〇で飲んでるから、高齢者医療制度のあり方や韓国の医療制度に興味がある

なら、全員集合」とメールを出す。集合場所の飲み屋には、今日、明日の話だから、5人くらいになるだろうと連絡をしていたら、日経から赤旗までの5紙の記者、15人くらいが集まってしまった。高齢者医療制度の話をどれほどやったか知らないが、7時から2時過ぎまで言いたい放題のバカ話をしながら酒を飲む。その後、みんなは僕の考えを理解していないようだから、たぶん高齢者医療制度の話もせずに飲んでいただけだと思うのだが…。

つとに、こんなんでも良いのか？ もう少しまじめに仕事をしなければならぬ気がしないでもない（「。」「」）ボソ…

#### 関連文章

勿凝学問 211 [別にこだわりがあるわけではない高齢者医療制度改革案——高齢者医療制度に関する検討会への試算要求](#)